

【実施区域・面積】

愛知県名古屋市名東区、
65.08ha

【生態系タイプ】

里山林、人工林、水田、湿地、
湖沼

【実施区域の状況】

本区域は、雑木林、人工林、竹林、棚田、ため池、湿地などが複合的に存在する都市内の広域緑地であり、希少種が確認されている。里山利用の歴史を背景に、市民活動や自然観察の拠点としても機能している。

【目標】

都市近郊に残された多様な生物の生息・生育環境を将来にわたって良好な状態で維持・再生しつつ、地域住民が自然とふれあいながらその恩恵（生態系サービス）を享受し続けられる、健全で持続可能な里山的環境の創出・継承

【主な活動内容】

雑木林等での間伐・除伐による管理・保全、湿地・ため池の維持管理（堆積除去、水位管理等）、外来種の駆除作業、緑地全域の整備（除草、芝刈、清掃等）、市民参加型自然観察会の実施。

【モニタリング計画】

踏査による動植物調査（毎年通年で実施）
塚の杵池の水位操作に伴う水質および動植物調査
アプリを活用した市民による動植物調査

【実施体制】

名古屋市
名東自然倶楽部
なごや生物多様性保全活動協議会



【計画期間】

2026年 3月～2031年 3月

サイト詳細シート ②サイトの状況等

管理番号	B1	25272
------	----	-------

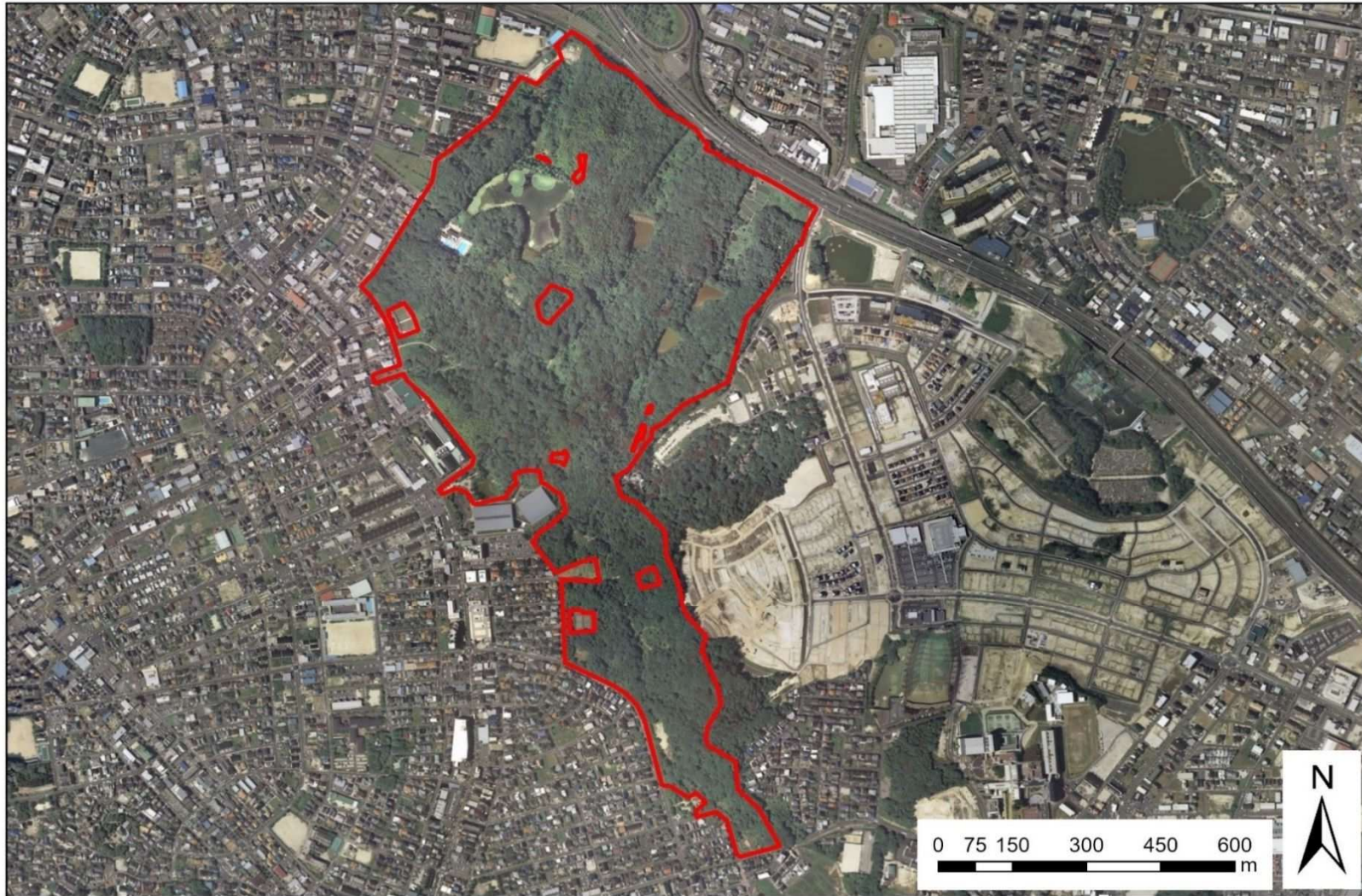
1. サイトの基礎情報（必須）

サイト名称	日本語名	猪高緑地（いたかの森）				
	英語名	Itaka Ryokuchi Park (Itaka Forest)				
サイト住所	愛知県名古屋市名東区猪高町					
サイト面積	65.08	ha	(うち、海域部分)	保護地域との重複がある場合	重複部分の面積	
			0 ha	(把握している場合記入)	0 ha	
面積の換算方法： ☒ GISによる面積計算 ☐ その他 ()						
代表申請者	名古屋市					
連携活動実施者	名東自然倶楽部					
土地の所有者等	名古屋市等					
活動類型	☒ 生物多様性の維持 ☐ 生物多様性の回復 ☐ 生物多様性の創出					
生態系タイプ	森林	草原	農地	都市	陸水域	沿岸域
	☐ 天然林	☐ 自然草原	☒ 水田	☐ 創出緑地	☒ 河川・湖沼	☐ サンゴ（礁）
	☒ 里山林	☐ 二次草原・草地	☐ 畑・果樹園・牧草地		☐ 高層湿原・中間湿	☐ 藻場・岩礁
	☒ 人工林				☐ 原・湧水湿地	☐ 干潟・マングローブ林
					☒ 低層湿原・湿地	☐ 砂浜

1. サイトの基礎情報（生物多様性の価値）（必須）

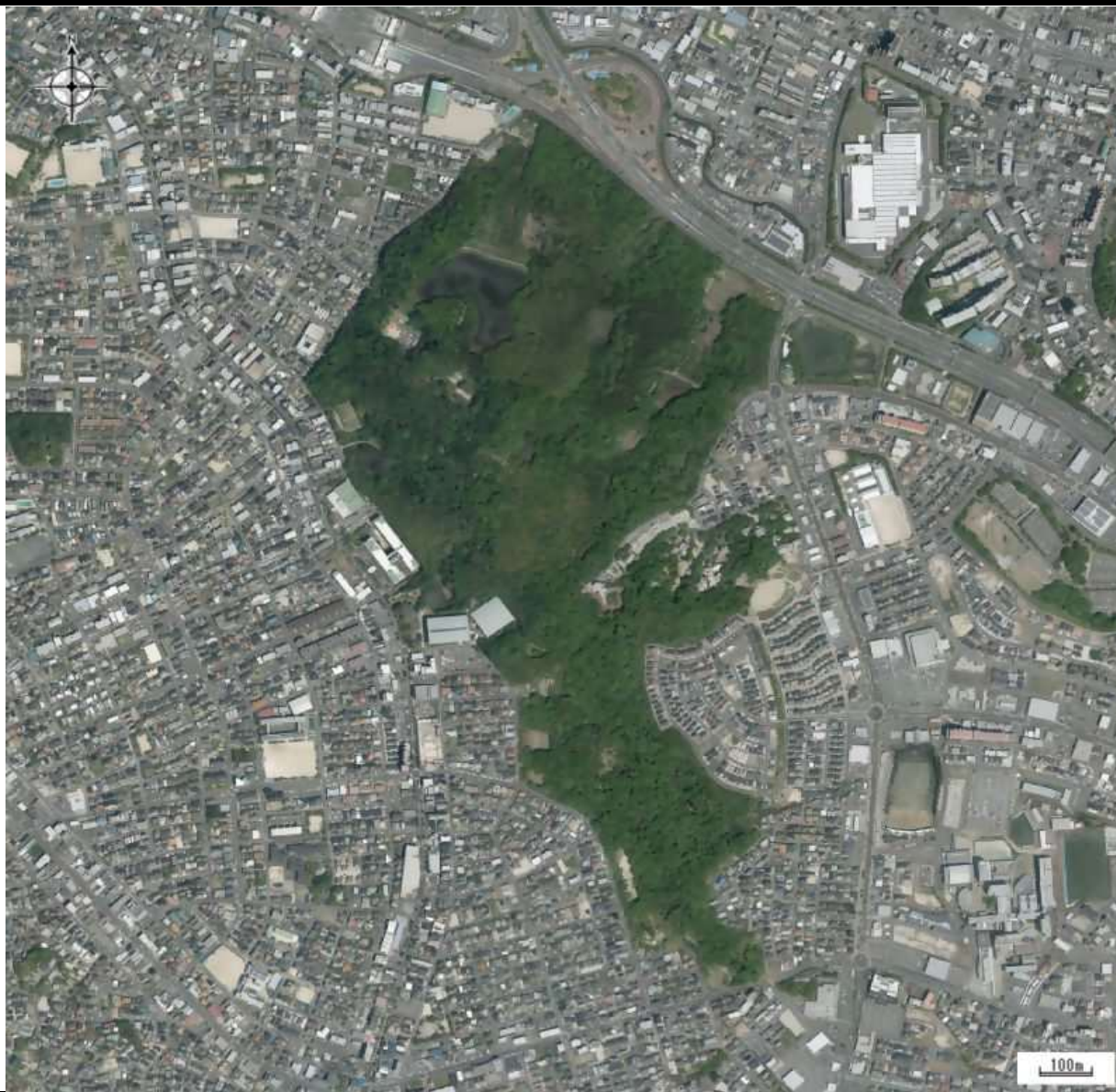
活動により増進を図る生物多様性の価値	☐ ① 公的機関によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場としての価値 ☐ ② 原生的な自然生態系が存する場としての価値 ☐ ③ 里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場としての価値 ☒ ④ 生態系サービス提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場としての価値 ☐ ⑤ 伝統工芸や伝統行事といった地域の伝統文化のために活用されている自然資源の供給の場としての価値 ☒ ⑥ 希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場としての価値 ☐ ⑦ 分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性がある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場としての価値 ☐ ⑧ 越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、動物の生活史にとって重要な場としての価値 ☐ ⑨ 既存の保護地域又は自然共生サイト認定区域に隣接する若しくはそれらを接続するなど、緩衝機能や連続性・連結性を高める機能を有する場としての価値
---------------------------	---

1. サイトの基礎情報（区域図）（必須）



地理院空中写真タイルに区域図（赤枠）を追記して掲載

1. サイトの基礎情報（全体写真）（必須）



名古屋市都市計画写真地図
〔令和2年(2020年)作成〕を使用

2.サイトの生物多様性の現況

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場	
【場の概況】生態系サービスの提供の場についての概況を記入。 本区域は、都市近郊にありながら、雑木林、ため池、湿地、棚田等がモザイク状に分布する多様な自然環境を有している。これらの環境は、地域住民に対して自然観察や散策、環境学習の機会を提供しており、生態系サービスの一つである文化的サービスの供給機能が高い。	 写真番号：01 写真の撮影年月：2025年5月 写真の説明：竹林（モウソウチク）の様子
【主な植生】 コナラを主体とする落葉広葉樹二次林、モウソウチク等による竹林が見られる。林縁部や伐採跡地にはチガヤ、ススキ、クズなどの草地性植生も成立しており、ため池や湿地周辺にはハンノキ、ヨシ、ヒメガマ等の抽水・湿性植物が群落を形成している。これらの植生が景観的および生態学的多様性を支えている。	
【確認された主な動植物など】 申請区域全体では、植物664種（コケ類含む）、動物721種（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、底生動物）が確認されている（添付資料『確認種リスト』）。主な種は以下のとおりである。 【哺乳類】タヌキ（<i>Nyctereutes procyonoides</i>）/カヤネズミ（<i>Micromys minutus</i>）など 【鳥類】マガモ（<i>Anas platyrhynchos</i>）/カワセミ（<i>Alcedo atthis</i>）など 【爬虫類】クサガメ（<i>Mauremys reevesii</i>）/ヒバカリ（<i>Hebius vibakari vibakari</i>）など 【両生類】アズマヒキガエル（<i>Bufo japonicus formosus</i>）/トノサマガエル（<i>Pelophylax nigromaculatus</i>）等 【魚類】モツゴ（<i>Pseudorasbora parva</i>）/ドジョウ（<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>）など 【昆虫類】ネアカヨシヤンマ（<i>Aeschnophlebia anisoptera</i>）/オオゾウムシ（<i>Sipalinus gigas gigas</i>）/ツクツクボウシ（<i>Meimuna opalifera</i>）/ホンバセセリ（<i>Isoteinon lamprospilus lamprospilus</i>）など 【底生動物】カワコザラガイ（<i>Ferrissia nipponica</i>）/オカチョウジガイ（<i>Allopeas clavulinum kyotoense</i>）等 【植物】ヤマイトチシダ（<i>Dryopteris bissetiana</i>）/サイハイラン（<i>Cremastra variabilis</i>）/マツカサススキ（<i>Scirpus mitsukurianus</i>）/ヤブコウジ（<i>Ardisia japonica var.japonica</i>）など 【コケ類】タチヒダゴケ（<i>Orthotrichum consobrinum</i>）/イチョウウキゴケ（<i>Ricciocarpos natans</i>）など	 写真番号：02 写真の撮影年月：2025年5月 写真の説明：落葉広葉樹二次林の様子
<添付資料> ※対応箇所や該当ページも記入ください	動植物種のリスト、・提供する生態系サービスの内容が分かる資料などを添付 添付2_確認種リスト

2.サイトの生物多様性の現況

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】希少な動植物種が生息生育している場の概況について記入。

本区域には、塚ノ杵池をはじめとする複数のため池および湿地環境とコナラ・アベマキを中心とした二次林がモザイク状に存在しており、都市域において貴重な水辺生態系を形成している。このような湿地～二次林の環境には、愛知県内でも分布が限られる両生類や昆虫類、植物等の希少種が確認されている。

【確認された希少種】

本申請区域内では、主に湿地とその周辺の二次林の区域で、環境省レッドリストまたは愛知県レッドリスト、名古屋市版レッドリストに掲載された希少種として植物60種（コケ類含む）、動物80種が確認されている（添付資料『確認種リスト』）。主な種は以下のとおりである。

希少種の一部を掲載

【哺乳類】アカギツネ（名古屋市RL：EN）、タヌキ（名古屋市RL：NT）、ヒミズ（名古屋市：EN）

【鳥類】コサメビタキ（愛知県RDB：EN）、ホオアカ（愛知県：ExW）

【爬虫類】ヒバカリ（名古屋市：VU）、ニホンマムシ（名古屋市：VU）

【両生類】トノサマガエル（名古屋市：VU）、ニホンアカガエル（名古屋市：CR）

【魚類】ドジョウ（環境省・愛知県：EN、名古屋市：CR）、ミナミメダカ（環境省・愛知県・名古屋市：VU）

【昆虫類】ベニイトトンボ（環境省・名古屋市：NT、愛知県：VU）、ツマグロキチョウ（環境省：EN、愛知県・名古屋市：NT）

【底生動物】カワコザラガイ（環境省：CR）、カワニナ（名古屋市：DD）

【コケ類】ウキゴケ（愛知県；VU、名古屋市：NT）、イチョウウキゴケ（環境省・名古屋市：NT）

<添付資料>

※対応箇所や該当ページも記入ください

動植物種のリスト（和名、学名、レッドリストのカテゴリ、ライフステージ（成虫、幼虫など）、調査手法（目視、ラインセンサス、自動撮影カメラなど）、調査/確認地点などの情報がわかる資料を添付

添付2：確認種リスト（シート：猪高緑地 > 希少種抜き出しリスト）



写真番号： 写真の撮影年月：
写真の説明：ニホンアカガエル



写真番号： 写真の撮影年月：
写真の説明：ニホンマムシ

3.関連情報（生態系サービス）（任意（※ただし、価値4に該当する場合は必須））

	申請区域が有している生態系サービスについて、チェックを入れてください(複数選択可)		
区域が有している生態系サービス	☐ 供給サービス 食糧、水、木材、繊維、燃料 など	☒ 調整サービス 気候調整、水質保全、病虫害抑制、防災・減災 など	☒ 文化的サービス 精神的充足、美的楽しみ、レクリエーション、教育的効果 など
	循環経済 食 脱炭素 農山村 いやし 健康		
生態系サービスの概況	本区域は、都市化の進む名古屋市内にあって、里山的環境を維持しており、多様な生態系サービスを地域に提供している。 調整サービスの観点では、ため池や湿地が雨水の一時的な貯留や地下水涵養機能を担っており、特に都市型洪水の緩和や微気候の調整、生物多様性のネットワーク拠点として重要な役割を果たしている。また、植生による斜面の安定や空気浄化などの機能も期待される。 加えて、最も顕著なものとして、文化的サービスが挙げられる。区域内には複数の散策路が整備されており、市民による自然観察や環境学習、レクリエーションの場として広く利用されている。また、名東区役所や地域団体等による自然観察会、保全活動、棚田体験などの取組が定期的に行われ、自然とふれあう地域コミュニティの核となっている。 これらのサービスは、単に自然環境の保全という側面にとどまらず、都市生活の中で人々の心身の健康や地域の連帯感の醸成にも寄与しており、本区域は都市における持続可能な自然共生の象徴的な存在といえる。		
脱炭素、環境負荷低減など関連する取組（あれば）			

4. 追加写真用シート (任意)



左上：写真番号05 写真の説明：しだれ桜の里（冬）

右上：写真番号06 写真の説明：棚田（田植え）

右下：写真番号07 写真の説明：棚田（稲刈り）

5. 写真の撮影位置 (必須)

